

## 新たな委員のもとで学校運営協議会が始まりました。

平成29年度から始まった八峰町学校運営協議会は、1期目の委員の任期が令和2年3月末で終了したので、2期目の委員を新たに委嘱して、今年度の第1回協議会を5月19日（火）に開催しました。

川尻教育長からは、「県の学習状況調査の中の〈地域のためになる取り組みに進んで取り組みたいか〉の問いに、町内児童・生徒の肯定回答が県平均を上回っており、コミュニティ・スクールに取り組んでいる成果が出ている」とあいさつがありました。

協議会では、「令和2年度の事業計画」を決定するとともに、「各学校の学校運営の基本方針等」について承認しました。

### 【協議会の事業計画】（※新型コロナウイルス状況によっては変更等あり）

- ①学校運営協議会を年3回（5月承認、10月状況報告、2月評価）
- ②熟議、フォーラムを年1回ずつ（8月、1月）
- ③委員研修として各学校の授業参観を実施
- ④コミスク通信の発行、カレンダー全戸配布、HPやブログ発信、保護者アンケートの実施、子ども行事へ地域参加の呼びかけ
- ⑤高校生とのつながりを持つ行事の実施



# 八峰 コミュニ スク通信

令和2年度  
第2号  
R2/5/22  
CSディレクター  
工藤

Dのあちこち見聞録  
は次号掲載予定です。ごめんなさい。

### 【各分科会での報告（一部紹介）】

#### ◎八森小分科会

新型コロナウイルスの影響で「子ども元気みこし」が中止となり、代わって「ジオパーク学習」に重きを置いた活動を進める。学年ごとに系統的に学習できるように検討する。

#### ◎峰浜小分科会

「ふるさとに根差したキャリア教育」で行っている米、ソバ、梨、ラベンダーに関する体験等を、地域と連携・協力しながら更に展開させていきたい。

#### ◎八峰中分科会

3つの重点目標「生徒一人一人に寄り添った安心・安全な学校づくり」「自己有用感を醸成するための学びの充実」「地域との連携・協働による、ふるさとを舞台にしたキャリア教育の充実」を進める。

なお、最近の生徒の傾向として、「自ら能動的に活動していない」「自己表現が物足りない」「人間関係が希薄で、人付き合いが不慣れ」等があり、学校・家庭・地域等と連携しながら取り組むべき課題となっている。

### 学校運営協議会の委員紹介

2期目の学校運営協議会委員は、新たな団体、学校長及びPTA会長等の役職で変更があった方を含めると、9名の方が新しく委員になりました。

（敬称略。☆が新規の委員。任期は3年）

会長 小沢 悟（芸文協）

副会長 田村 正（社会福祉協議会）、佐藤勇一☆（樺台自治会・有識者）

委員 工藤哲弥（老人クラブ連合会）、田村利満（民生児童委員協議会）、岡田正子（婦人会）  
板谷大樹（観光協会）、辻 正英（八峰白神ジオパーク）、米森雄大☆（JA青年部）  
皆川鉄治☆（商工会）、山本百合子☆（生涯学習奨励員の会）、鈴木久明☆（体育協会）  
福士保洋☆（Teamガンバルベ石川）、金平喜美仁（八峰中PTA）、伊藤一八☆（八森小PTA）  
笹本郁生☆（峰浜小PTA）、菊地 天（八峰中校長）、八代英樹☆（八森小校長）  
齋藤猛満（峰浜小校長）、大坂江利子（八森子ども園）

